

地域いきいき健康マップ

葛川
地区

produced by 大津市スポーツ推進委員協議会

1 葛川少年自然の家



葛川「坊村」バス停下車、葛川市民センター南側にある生涯学習施設です。葛川の豊かな自然環境の中で子どもたちが集団宿泊生活を通して、自然体験をすると共に明るく、たくましい子供を育成することを目的に建設された施設。

2 茅葺の家



葛川地域で昔から利用されていた民家の保存を目的に葛川貫井地区にあったものを移築、復元して同時に庭園も整備したものである。茅葺民家は年々減少し、現在、地元協力の下、民具の展示と共に公開されている。

3 森林キャンプ村

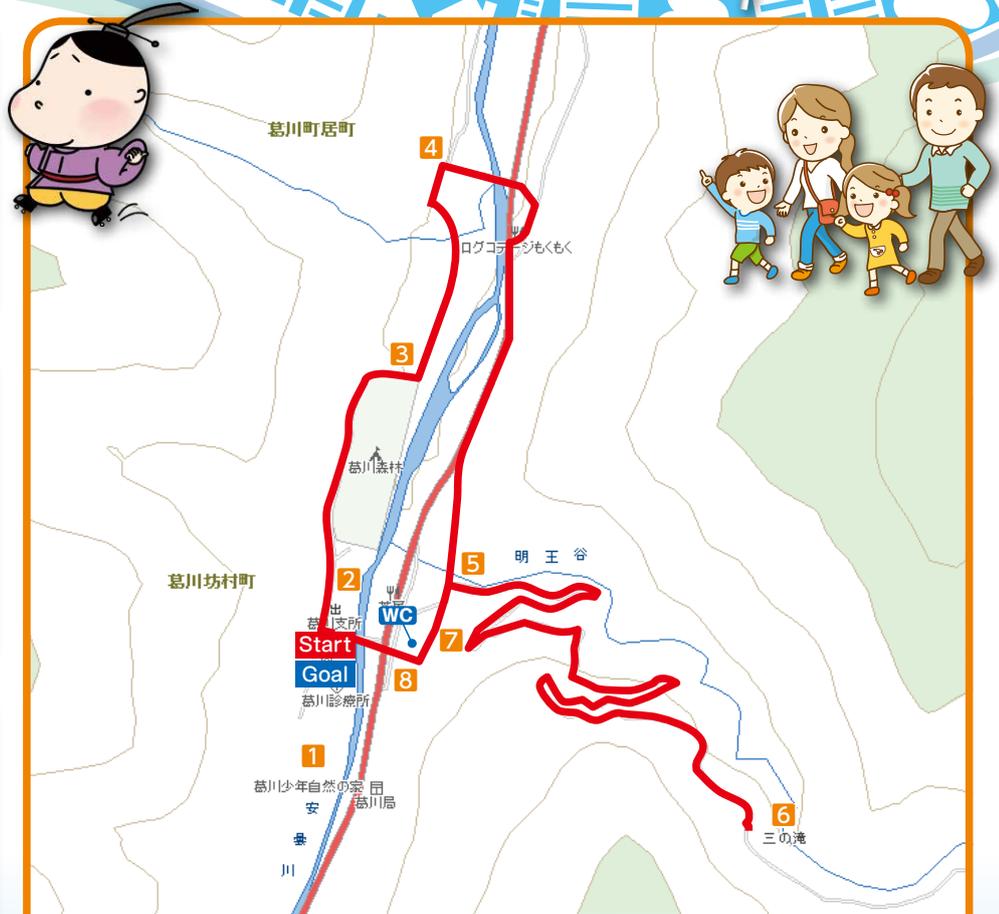


バンガローやテント、屋根付きの炊飯場などの設備のほか、テニスコートも完備している。キャンプの醍醐味が満喫でき、子どもたちのために開設された少年自然の家と共に山村の暮らしが体験できる。

4 町居の集落



葛川町居の集落風景。国道367号線(鯖街道)から安曇川に架かる町居橋を渡ると、昔の宿場町を彷彿とさせる民家の景観に出会う。過去にタイムスリップしたような気持ちになる。



Start : 葛川市民センター Goal : 葛川市民センター

距離 : 約6km 目安消費カロリー : 約250kcal/50kg ・ 約330kcal/65kg

5 明王院(護摩堂)



859年比叡山延暦寺の僧、相応和尚が不動明王を感得、木像を納めたのが始まり。以来、天台回峰行の道場とされた。室町時代には足利義尚や母日野富子も訪れ、名を記した木札を残している。例年7月18日に行われる勇壮な「太鼓まわし」は有名。

6 三の滝



坊村バス停から明王谷林道を約1.8キロ行った明王谷にある滝。ここにおいて昔、延暦寺の僧、相応和尚が参籠し、厳しい修行の後不動明王を感得し、滝壺の桂の木に不動尊を刻み安置したのが明王院の始まりである。

7 地主神社(本殿)



明王院の鎮守社である。主祭神の国常立尊、地主神の思古淵大明神と山王権現を祀る。社殿は拝殿、幣殿、本殿の三棟が一列に並んで配置されており、本殿は文亀2年(1502年)の建築である。

8 料理旅館「比良山荘」



京、若狭をつなぐ街道沿いにあり、比良山の麓で営業する山の辺料理の宿。坊村バス停よりすぐ、地主神社、明王院の門前にある。庭園と清楚な佇まいが印象的。

マップ外の周辺
オススメスポット!!

志古淵神社



梅の木バス停より北東へ少し行ったところに鎮座する。本殿と境内社二社が上屋で覆われている。祭神は大山咋神である。思古淵神は他に朽木や旧安曇川町など安曇川流域の各所で祀られており筏流しの守護神として信仰されてきた。

花折峠



平バス停より旧鯖街道を1.4キロ南へ行ったところが花折峠(標高591m)である。葛川参詣に由来し、この峠付近で、仏供の花、櫛を手折って参る習わしであったことから花折と名付けられたと云う。峠を北へ下ると葛川谷である。